

## 第62回国連女性の地位委員会 一般討論ステートメント（和文仮訳）

議長,

日本国政府を代表して、ネyson議長をはじめとするビューローメンバーとこの会合の準備に献身的な努力をされた全ての関係者に心から謝意と敬意を表します。

議長,

### *(国内の取組)*

我が国は、SDGs 達成に向けて、農山漁村地域における女性を含む全ての女性が自分らしく活躍できる社会の実現を目指して、国内外で様々な取組を実施しています。国内では、農林漁業に従事する女性の環境を改善するために、家族の話し合いをベースに給与や休暇等の就業条件及び家事の役割分担を取り決める「家族経営協定」の作成を推進しており、現在までに約6万の家族が締結しています。加えて、2020年までの具体的な数値目標を定め、農業委員会の委員や農業協同組合の役員の女性の割合を拡大させ、政策・方針決定過程における女性農業者の参画を促進しています。また、女性農業者の知恵を様々な企業の技術と結びつけ、新たな商品やサービスを開発する活動（「農業女子プロジェクト」）の推進や、次世代リーダーとなり得る若い女性農業者の育成も実施しています。我が国は1988年に3月10日を「農山

漁村女性の日」と決め、その前後の期間には、農山漁村の女性の一層の活躍を推進することを目的として地方自治体や農林漁業団体等により記念行事が全国で開催されています。

議長、

(国際的なイニシアティブ)

我が国は、農山漁村における女性のエンパワーメントを促進するため、無償資金及び技術協力等を通じた国際的な支援も積極的に実施してきました。アフリカでは、小規模園芸農業事業において、男性及び女性農業従事者にジェンダー啓発活動を実施しており、男性は経営者、女性は労働者という従来の意識に変化をもたらしています。様々な能力開発を実施した結果として、女性の経営参画が増加し、所得の増加及び持続的なアグリビジネスに貢献しました。また、ジェンダーに配慮した稲作技術、農産品加工、一村一品、産地形成とブランド構築、フードバリューチェーン構築等への援助を通じて、農山漁村における女性の生活を向上させると共に、女性のリーダーシップ醸成や、経済的エンパワーメントにも貢献しています。先月には、農業分野における女性のエンパワーメントワークショップを、ケニア農業省とFAOの協力を得てケニアにて実施しました。また、我が国は、2016年の第3回WAW!で発表した、2016年から2018年の3年間で30億ドルを超す女性支援の実施に加え、昨年7月に世銀に立ち上げられた、途上国における女性起業家支援を目的とした「女性起業家資金イニシアティブ」に5,000万ドルの拠出を表明しました。今後も農林水産分野を含むあ

らゆる分野において、途上国の農山漁村における女性が直面する様々な障害や障壁を克服するため、ジェンダー平等の視点に立った支援を継続します。

*(WAW! フォローアップのサイドイベント)*

昨年11月には、第4回となる国際女性会議 WAW! を東京で開催しました。WAW! in Changing World をテーマとして掲げた WAW!2017 では、女性起業家支援、メディアにおける女性、無償労働の再分配、女性・平和・安全保障等の重要なテーマについて様々な視点から議論を行いました。なお、本日午後には、WAW! フォローアップのサイドイベントを行いますので、皆様には是非ご出席頂けますと幸いです。

議長、

*(結語)*

我が国では、地方における人口減少が進んでおり、若年女性が地方から都市へ移住する現象がその原因の一つと言われています。農山漁村において女性と女児のエンパワーメントが進み、女性をめぐる環境が改善され、女性農業者が決定権を持ち、積極的に経営に参画することができれば、女性はもっと地方に定着し、経済及び社会開発が進み、地域は活性化するでしょう。我が国は、全ての女性が輝く社会を造るために、各国、国際機関、民間企業、市民社会といった同じ目的を共有するすべての関係者と連携し、国内外における女性のエンパワーメントを進める取組を引き続き誠実に実行して参ります。

ご静聴ありがとうございました。